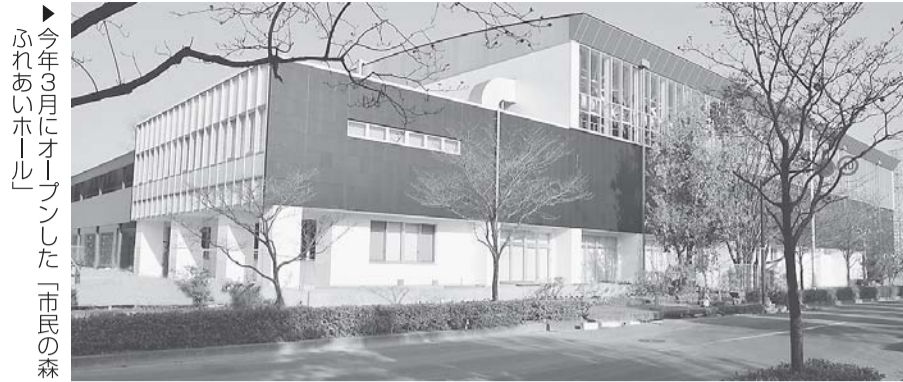


平成23年度 決算の審査から



▶今年3月にオープンした「市民の森ふれあいホール」

今定例会初日に、平成23年度決算についての議案が上程されました。これを受け、議会では一般会計、特別会計の両決算について2つの特別委員会を設置し、予算が適正に執行されたか、財政運営は妥当であったかなどを審査を行いました。

一般会計の歳入決算額は、585億7千578万2千139円で、前年度比1.4%の増。対する歳出決算額は564億4千702万3千911円で、前年度比0.9%の増でした。歳入は、個人市民税が前年度に続き減収となったものの、固定資産税・たばこ税の増により、市税は微増となりました。一方、歳出は、生活保護費などの扶助費の増、物件費等の増加により基金を大幅に取り崩すなど、厳しい財政運営を余儀なくされました。

また、特別会計は、歳入総額が46億7千519万円で前年度比8.2%の増、歳出総額は46億7千668万円で、前年度比7.8%の増となりました。

一般会計及び特別会計決算は、委員会審査の後、本会議においても慎重に審査を行い、採決の結果、すべて認定されました。各会計の審査・審議状況は次のとおりです。

一般会計

平成23年度一般会計決算特別委員会(委員長・谷和彦委員/副委員長・中嶋良樹委員)は、9月20日・21日・24日の3日間わたって開催し、慎重な審査を行いました。

委員会では、担当部署からの内容説明に対し、予算執行に見合うだけの行政効果があつたのか、会計処理上の過誤や不適切な支出はなかつたのか、財産の管理は適正に行われたのかなどについて、延べ47人の委員が質疑や行政への提言・指摘を行いました。主な質疑は、次のとおりです。

- ▶市税徴収率とコンビニ
- ▶ごみ処理広域支援の手
- ▶人口は増加しても市民税が減少している理由は、
- ▶市民税、固定資産税の滞納繰越分が、過去5年間上昇していることについて今後の課題を問う。
- ▶市有地売却4件と、売却に至らなかつた土地について問う。
- ▶予備費充当840万円の使い道を問う。
- ▶百草台コミュニティセンターが耐震性から使用制限があることの見解は、
- ▶ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業の利用世帯数と利用時間を問う。
- ▶施設修繕のあり方は、
- ▶健康事業の実績とトレーニングの効果を問う。

数料単価と積算コストは、ふだん着で行うCO2削減事業の効果も問う。

公共施設小規模修繕等業務委託の手応え、今後の構想など見解を問う。

工業振興基本構想策定事業の内容を問う。

スポーツ・レクリエーションフェスティバルのイベントの集客数を問う。

市制50周年事業の平成23年度の取り組み内容は、緊急雇用創出事業活用後の業務展開を問う。

委員会は最終日の総括質疑の後、採決を行った結果、平成23年度一般会計決算は賛成多数で「認定すべきもの」と決しました。本会議では谷委員長が審査報告を行い、会派

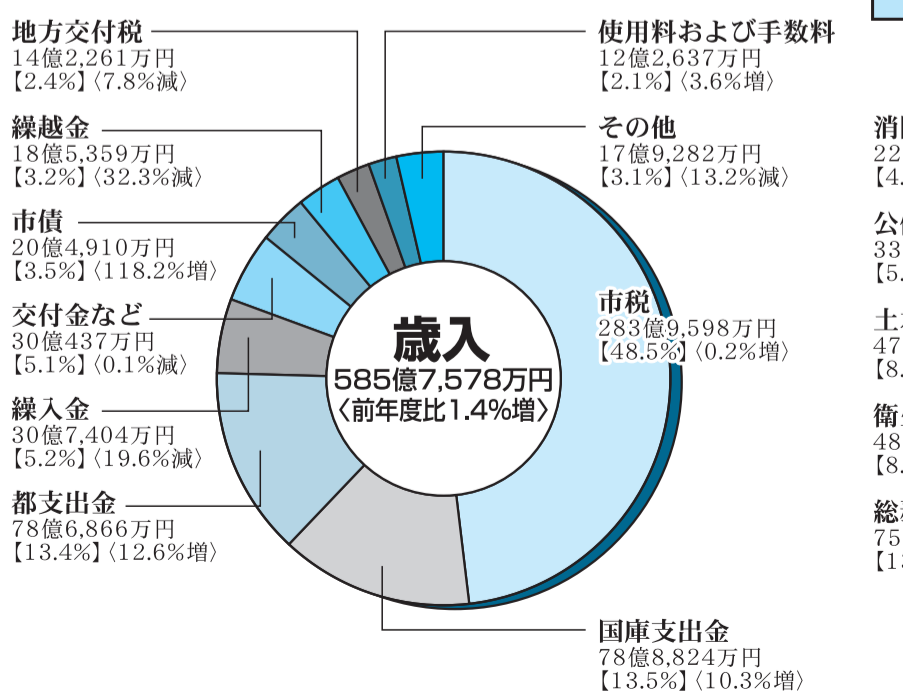
の代表が意見を述べ、今後の行政運営に反映するよう要請し、その後採決が行われて、平成23年度一般会計決算は賛成多数により認定されました。

平成23年度特別会計決算特別委員会(委員長・窪田知子委員/副委員長・中谷好幸委員)は、9月25日に開催され、6つの特別会計決算について慎重な審査を行いました。

審査は、国民健康保険、土地地区画整理事業、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療、市立病院事業の各会計順に行い、各委員から様々な質疑や行政への意見・提言・指摘がありました。主な質疑は、

- ▶国民健康保険：国保税徴収率と滞納率/市の国保税は重い負担になっている。国へも働きかけるべき。
- ▶土地地区画整理事業：立替金の内容と残高/債務負担行為は議決されているが、予算書・決算書に載っていないことは違法ではないか。
- ▶下水道事業：過去から現在までの普及状況と未整備状況/下水道への接続は賛成多数で、他の4会計は全会一致で認定。平成23年度の各特別会計決算は全て認定されました。

一般会計決算構成図



主な取り組み

番号	取り組み	金額
①	参画と協働のまち ●まちの将来を見据えた取り組み(仮称)50年ビジョンプロジェクト、三世代交流促進事業の実施 ●多世代交流の場となる「市民の森ふれあいホール」を建設及び開設など	…約25億円
②	子どもが輝くまち ●保育園待機児解消に向けた民間保育所の開設支援 ●小中学校普通教室(最上階等)に冷暖房機を設置、小学校全校にリソールームを設置、学童クラブの育成時間を延長 ●子どもの発達に関する窓口として「発達支援室」を設置、相談支援などを開始など	…約19億4千万円
③	健やかでともに支えあうまち ●特別養護老人ホームの開設に向けた支援 ●小規模多機能型居宅介護事業所と障害者就労継続支援事業所を整備 ●健康増進施設「健康サポートルーム“輝”」を開設 ●子宮頸(けい)がん等ワクチン接種の促進など	…約4億9千万円
④	安全で安心して暮らせるまち ●木造住宅の耐震診断・改修工事及び家具転倒防止器具の設置への助成 ●災害発生時を想定した備蓄品を更新(児童・生徒の帰宅困難時に毛布を配置など) ●高齢者等を中心とした買い物弱者への支援(地元商店会との連携による宅配サービスの開始) ●東日本大震災被災地の復興支援として職員を派遣 ●市立病院における医療機器の計画的更新など	…約11億7千万円
⑤	地域の魅力を活かした活気あるまち ●多摩平の森重点地区におけるまちづくりの推進 ●商業施設整備の誘導、新たな公共施設整備の整備構想を策定 ●都市計画道路3-4-14号線(一番橋通り)、都市計画道路3-4-22号線(緑橋通り)の整備 ●JR豊田駅自由通路のバリアフリー化工事の実施 ●土地地区画整理事業のさらなる推進など	…約42億7千万円

決算額

会計名	歳入	対前年度比	歳出	対前年度比
一般会計	585億7,578万円	1.4%増	564億4,702万円	0.9%増
特別会計	464億7,520万円	8.2%増	460億7,668万円	7.8%増
国民健康保険	165億2,329万円	6.9%増	162億4,722万円	5.8%増
土地地区画整理事業	37億1,123万円	7.0%増	35億6,210万円	10.2%増
下水道事業	65億5,414万円	34.6%増	64億3,982万円	34.9%増
介護保険	96億4,517万円	4.4%増	96億2,314万円	5.1%増
後期高齢者医療	29億1,438万円	3.4%増	28億9,551万円	3.5%増
市立病院事業	71億2,699万円	0.2%増	73億889万円	1.7%減
合計	1,050億5,098万円	4.3%増	1,025億2,370万円	3.9%増

※老人保健制度の廃止に伴い、老人保健特別会計は平成22年度末で廃止されました。

